



政晴会 樋口直喜 4  
**不当な客引きへの対応を！**

**問**現在クレアモールでは不当な客引きが課題である。商店会では自主的に対応を強化しているが、市としても今一歩踏み込んだ対応をすべきでは。

**答**市民部長 クレアモールの周辺は「川越市防犯のまちづくり重点地域」であることから、警察や地域の皆様と連携し、安全・安心の確保を図っていく。

引き続き、春と夏の「

防犯キャンペーン」や「年末防犯パトロール」を実施することに加え、職員による夜間防犯パトロールの実施などについても検討し、自転車盗やひたくりなどの街頭犯罪の防止とあわせて、不当な客引きの防止についても対応していきたい。

**問**犬猫販売店の監視指導  
**問**商店街振興の諸課題



自由民主党 海沼秀幸 5  
**不正受給に対する対策は？**

**問**平成27年度の生活保護の不正受給は、約2345万円という大きな金額となったが、市として今後の対策をどのように考えているのか？

**答**福祉部長 件数及び金額とも決して少なくないと認識している。今後の対策については、引き続き、受給者の方に対しては、生活保護法第61条にある収入申告の義務の徹

底、また、不正受給者に対しては、同法第62条による文書指導の徹底を図ること、不正受給の発生防止に努めていきたいと考えている。

なお、特に悪質な不正受給者については、引き続き告訴等を検討していきたいと考えている。

**問**生活保護



公明党 中村文明 6  
**夜間中学の設置に向けて**

**問**教育機会確保法の施行を受け、夜間中学の設置に向けて、川越市としてどのように取り組んでいくのか。

**答**学校教育部長 文部科学省は、各都道府県に少なくとも1校は公立の夜間中学を設置することを目指して、さまざまな支援を行うということだが、具体的な内容については示されていない。

県内では、外国人支援

という枠の中で、公立の夜間中学の設置を検討していくことを表明している市もある。本市としては、国の動向を注視しながら、県内における公立の夜間中学校の設置について、関係市町村連絡協議会を通じて、県教育委員会に働きかけていく。

**問**教育機会の確保  
**問**こどもの居場所づくり



自由民主党 吉敷賢一郎 7  
**総合体育館の利便性向上へ**

**問**バスケットボールのコートが3面に増設される総合体育館の安全で有効な利用には、新たにゴールの導入が必要と考えるが、市の見解を伺う。

**答**文化スポーツ部長 総合体育館メインアリーナの床改修工事に伴い、バスケットボールのコートが、2面から3面に増設された場合には、1コート分のゴールが不足する

こととなり、その必要性については認識しているところである。しかしながら、ゴールが増えることで保管場所の確保も必要となり、器具庫を利用しての利用団体等との調整が必要となる。こうした状況も十分考慮し、導入に当たっての検討を進めていきたいと考える。

**問**来庁者に優しい庁舎へ  
**問**総合体育館の整備充実



自由民主党 吉野郁恵 8  
**リーサスから見る産業支援**

**問**素晴らしい川越市のものづくりを支えているのは人であり、いかに若者に働いてもらうかが重要。市はどのように若者の地元就業に取り組むのか？

**答**産業観光部長 市内大学の担当の方に話を聞いたところ、学生には地元就業の潜在的な希望はあるが、地元企業を知らない人が多く、情報自体も手に入りにくいとの意見

をいただいた。まずは、

地元企業の魅力について学生や生徒に知ってもらうことが重要と考えている。今後、商工会議所やハローワークなどと連携し、ポータルサイトによる情報発信だけでなく、学生による企業取材など多くの若者に地元企業の魅力を伝えられるよう、取り組んでいきたい。

**問**川越の産業と支援



公明党 田畑たき子 9  
**食品ロスの削減について**

**問**食品ロスの削減に向けては、子どもの頃からの食育が重要と考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。

**答**保健医療部長 食品ロスの削減は、市民一人一人が食品ロスの現状や削減の必要性についての認識を深め、自ら取り組むことが必要となる。特に子どもの頃から食べ物を大切にし、食への感謝の

気持ちを育むことは重要で、家庭における役割も大きい。そのため広報等に記事を掲載するなど、食品ロスの意識を高めてもらうよう啓発していく。

今後関係機関や団体等と情報共有、連携を図り、若い世代を中心に食品ロスの視点も踏まえた食育に取り組んでいく。

**問**中学生社会体験事業  
**問**食品ロスの削減